

## 情報公開文書

**課題名：**小児由来肺炎球菌の薬剤感受性と血清型に基づく小児肺炎球菌感染症の治療戦略

### 1. 研究の対象

- ・2010年1月以降に東北労災病院を受診し、各種検体の細菌培養で肺炎球菌が検出された0～3歳児の薬剤感受性結果
- ・2025年10月以降に東北労災病院を受診し、各種検体の細菌培養で肺炎球菌が検出された0～3歳児の検出された肺炎球菌

### 2. 研究期間

2026年4月～2027年3月（延長の可能性もあります。）

### 3. 研究目的

肺炎球菌は小児上気道感染症の代表的原因菌です。2010年に肺炎球菌ワクチンが導入されてから、侵襲性肺炎球菌感染症は激減しているとの報告があります。また、感染症の原因となる肺炎球菌の血清型にも変化が起きていると報告されていますが、血液や髄液から検出される、いわゆる侵襲性肺炎球菌感染症の疫学情報が主であり、耳鼻咽喉科領域に関連する急性中耳炎や上気道感染症などの非侵襲性感染症の疫学情報は乏しいのが現状です。肺炎球菌感染症は、非侵襲性感染症が大多数を占めることから、今回、当院を受診され検査目的に採取された検体から検出された肺炎球菌について、薬剤感受性および血清型に関する調査を行い、現状に即した治療戦略を提唱することを目的に本研究を行うこととしました。

### 4. 研究方法

2010年1月以降東北労災病院において0～3歳児の各種検体から検出された肺炎球菌の薬剤感受性情報を微生物検査室のデータベースより取得し、薬剤感受性の変動について調査を行います。

また、2025年10月以降に検出されたこれらの菌株を収集します。取得する情報は、患者名などの個人を特定できる情報は除いて収集し菌株番号で管理するため、個人が特定されることはありません。肺炎球菌は、診療目的に採取された検体から検出されたもののみを用いるため患者様に新たな侵襲が加わることは一切ございません。保存した肺炎球菌の血清型別をおこない、耳鼻咽喉科領域および小児科領域の感染症の原因となった肺炎球菌の疫学情報を解析することで、現状把握に加え適切な治療戦略を提唱する予定あり、今後のよりよい治療に役立つことが期待されます。また、特徴的な菌株については、菌株のゲノム解析を行う可能性がありその場合外注検査会社に委託予定です。

本検討に加えさらなる医学の発展につながる可能性がある場合追加の検討にも検体を使用させていただく場合があります。検体は、東北労災病院細菌検査室にて厳重に管理いたします。研究終了後も、必要に応じて検体は厳重な管理のもと保管を継続させていただく場合があります。

## 5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：対象となった患者様のカルテ番号、背景（年齢、性別、基礎疾患、治療病名）や肺炎球菌が検出された経緯、ワクチン接種歴等、薬剤感受性結果

試料：検出された肺炎球菌

## 6. 外部への試料・情報の提供

菌株のさらなる解析が必要となった場合、外部の研究機関に試料および情報を提供する可能性があります。

## 7. 研究組織

代表者 角田梨紗子（東北労災病院 耳鼻咽喉科 副部長）

以下共同研究者

渡邊 健一（東北労災病院 耳鼻咽喉科 部長）

千葉 靖（東北労災病院 小児科 部長）

高柳 玲子（東北労災病院 小児科 部長）

高島 且統（東北労災病院 中央検査部 主任）

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4 丁目 3-21 東北労災病院 耳鼻咽喉科

Tel: 022-275-1111

角田梨紗子

平日 9時～17時